

〈小学校 国語 解説〉

設問 1ー

1 解説

趣旨

自分の考えが伝わるように、図表やグラフを用いることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号		解答類型	正答	
1	ー	1	3、4 と解答しているもの	◎
		2	3 と解答しているが、4 と解答していないもの	
		3	4 と解答しているが、3 と解答していないもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 図表やグラフを用いて効果的に書くことができるようにする

図表やグラフを用いるのは、示すべき事実が、図解したり、表形式やグラフ形式で表したりする方が分かりやすい場合である。観察や実験、調査の結果等の事実の記述は、図表やグラフを用いる方が、自分にとっても考えを深めやすく、読み手にとっても理解できるものとなる。図表やグラフの特徴を知った上で目的に応じて適切な図表やグラフを作成したり、本や文章から引用して用いたりすることができるようになることが大切である。

学習指導に当たっては、図表やグラフが用いられている教材文を扱う学習において、図表やグラフを用いた筆者の目的やその効果を捉えながら、自分の表現に生かすことができるようにすることが考えられる。また、実際に報告したり説明したりする文章を書く学習において、より分かりやすくするためにどのような図表やグラフを用いるのがよいかなど、ふさわしいものを考えるように習慣付けることが大切である。

設問 1 二

1 解説

趣旨

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号	解答類型	正答
1 二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 (a) 【下書きの一部】の①～④の中から、②と③の内容を取り上げている。 (b) 紹介する文章にふさわしい表現で書いている。 (c) 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。	
	(正答例) (「富山干し柿のあまさとおいしさのひみつは、」以下、この書き出しの言葉は省略する。) ・干したしぶ柿のタンニンが水にとけなくなり、もともとあったあまみであまくなったと感じることと柿を手でもみ、水分やとう分を全体に行きわたらせて深みのある味わいを生んでいることにあります。(91字)	
	1 条件(a)、(b)、(c)を満たしているもの	◎
	2 条件(a)、(b)は満たしているが、条件(c)は満たしていないもの	
3 条件(a)は満たしているが、条件(b)は満たしていないもの * 条件(c)を満たしているかどうかは不問とする。 (例) ・干したしぶ柿のタンニンが水にとけなくなり、もともとあったあまみであまくなったと感じる。柿を手でもみ、水分やとう分を全体に行きわたらせて深みのある味わいを生んでいる。(82字) ※ 敬体で記述していない例		

	4	<p>条件(b)は満たしているが、条件(a)は満たしていないもの</p> <p>※ 条件(c)を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しぶ柿の皮をていねいにむき、天日干しや機械を使って、ゆっくりとかんそうさせることや、柿を手でもみ、水分やとう分を全体に行きわたらせて、深みのある味わいを生んでいることです。(86字) <p>※ ②の内容からのみ記述している例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しぶ柿は、タンニンによるしぶさがあまみよりも強いのでしぶく感じますが、干すことで、タンニンが水にとけなくなるので口に入れてもしぶみを感じなくなり、もともとあったあまみであまくなったと感じるということです。(99字) <p>※ ③の内容からのみ記述している例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干したしぶ柿のタンニンが水にとけなくなり、もともとあったあまみであまくなったと感じることと、柿には、もともと、ビタミン、カロテン、食物せんいが豊富にふくまれていることにあります。(89字) <p>※ ③と④の内容から記述している例</p>	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

2 学習指導に当たって

○ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようにする

自分の考えが相手に伝わるように書くためには、事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。その際、文章の種類や特徴を踏まえて書くことが重要である。

本問のようなリーフレットを作成する際には、宣伝、案内等、目的や意図に応じて、調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げて書くことが重要である。また、相手に分かりやすく伝えたり、相手の理解を助けたりするための構成をその効果も考えて工夫することが大切である。

なお、児童の文章では敬体と常体が混在することがあるので、読み直して統一することができるようにすることも大切である。